

第3学年 保健体育指導案

日 時 平成18年10月27日(金) 第3校時
生 徒 雫石町立雫石中学校 3年3組
(男子 21名、女子 16名、計37名)
場 所 3年3組教室
指導者 教諭 荒屋敷久美子

1 題材名 健康な生活と病気の予防

2 題材について

人間の健康は、主体と環境の条件が関わりあって成り立っている。健康を保持増進し疾病を予防するには、その要因を知りそれに対する適切な対策をとる必要がある。また、心身の発育・発達の著しい中学生にとって、薬物乱用の影響は非常に大きい。近年、次代を担う青少年をとりまく社会環境の変化に伴って、中学生の間にも薬物乱用の危険性が増している現状があり、緊急に対策を講じることが求められている。

生涯にわたって健康でたくましく生きる生徒を育成するためには、喫煙・飲酒・薬物乱用によってもたらされる健康への影響や様々な問題について、早い時期から理解させていくことが大切である。また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心などの心理的要因や人間関係などの社会的要因によって助長される。したがって、それらの要因に対する適切な対処能力を高めることが必要である。

3 題材の目標

- (1) 健康の保持増進には、年齢、生活環境などに応じた食事、運動、休養・睡眠の調和のとれた生活が必要であり、生活習慣の乱れは健康を損なう原因になることを理解させる。
- (2) 喫煙、飲酒、薬物乱用は心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること、そのような行為には適切に対処する必要があることを理解させる。

4 生徒の実態

本校の保健体育の授業形態は男女別習で行っているが、薬物乱用防止教育に関しては、特別活動との関連を考慮し、共習で行うことにした。生徒はこれまでにを行った薬物乱用防止教育に関する学習に真面目に取り組んできた。日常生活においてもほとんどは正当な考えをもっているが、時には発言力の強い者がムードをつくり、流される傾向がある。たくさんの人の考えや少数意見にも耳を傾け、主体的な正しい判断と意思決定ができる力を育みたいと考えている。

今年度行ったアンケートの結果から、クラスの5分の1の生徒が、「たばこを吸いたいと思ったことがある」、約2分の1の生徒が「アルコールを飲みたいと思ったことがある」と答えている。また、家族の状況を調べると、70%の家庭に喫煙者、94%の家庭に飲酒者がいるという実態であった。薬物に興味を持ち喫煙者や飲酒者が身近にいることから、たばこや酒を勧められる可能性が高い環境であることがわかる。

5 指導計画

「健康な生活と病気の予防」

- | | | |
|-------------------|-----|------------|
| (1) 健康の成り立ち | ... | 4時間 |
| (2) 生活習慣病とその予防 | ... | 1時間 |
| (3) 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 | ... | 5時間(本時5/5) |
| (4) 感染症とその予防 | ... | 3時間 |

6 本時について

(1) 本時の目標

たばこや酒、薬物を勧められるという誘惑に対し、話し合いを通して、上手に断るスキル(技術)や態度について考えさせる。

(2) 授業の構想

授業では、喫煙や飲酒、薬物への誘いに対する適切な対処の方法を考えさせるため、誘われる相手として、友人の場合、先輩の場合、の二つのケースを設定する。それぞれのケースについて、適切な断り方をグループ内で考えると共に、誘いの相手によっては、「断りにくさ」があることを意識させ、その理由も考えさせたい。その後ロールプレイを行い、適切な断り方を疑似体験させたい。

(3) 展開

過程	学習指導の内容	生徒の活動	指導・援助の留意点
導入 5分	1 本時の学習内容の確認 2 本時の活動テーマを確認する。	1 本時の学習内容を想起する。 2 学習内容の把握	・喫煙、飲酒、薬物乱用の問題状況の中から、班ごとに一つを選ばせる。 課題を把握できたか(挙手)
	たばこや酒、薬物を勧められたときの断り方を考えよう		
展開 40分	3 効果的(上手)な対処の仕方 (1)友人からの誘いの場合 (2)先輩からの誘いの場合 4 ケース別の断り方の違いについて 5 適切な断り方を考え、ロールプレイングを实践させる。	3 これまでの学習を振り返り、効果的であろうと思われる対処の仕方を考える。 4 ケースごとの断り方の違いを発表する。 ・先輩からの誘いのほうが、断りにくいことがわかる。 5 改めて、友人や先輩からの誘いに対する適切な断り方を考える。 班の中でそれぞれの考えを紹介しあい、効果的であろうと思われる断り方を選ぶ。 発表者を決め、ロールプレイする。	・ケース別に、断り方に違いがあればそれをチェックするように促す。 ・自由に発表させる。 ・相手との関係を保ちながら上手く断る方法は、相手に自己主張的に対応することであることを伝える。 ・教師が勧める役を行い、発表させる。 ・発表の中で、自分が一番断りやすい方法をメモする。 全員が話し合いに参加できたか。(観察)
終末 5分	6 まとめ	6 まとめ話を聞く。	・逃げる、ごまかす、相談するという方法もあることを伝える。 ・有効な断り方が多様にあることを確認する。 自分にあった断り方を考えることができたか。(挙手)

評価

7 評価

(1) たばこや酒、薬物を勧められたときの適切な対処の方法(断り方や態度)を考えたことができたか。

(2) 自分の考えを上手く伝えるための工夫をして、ロールプレイに参加することができたか。